

## 宮城縣の道路愛護デーと

### 宮城縣道路保護協會の活動

鈴木正助

宮城縣に於ては來る五月三日を期して國民精神總動員の一項目として第二回道路愛護デーを實施することになつた。主催は前回と同様宮城縣道路保護協會と共同主催で實施するのである。縣に於ては去る四月十四日縣下各土木事務所長及庶務主任を招集し道路課長、道路主事、各關係技師以下列席、總師たる飯島土木部長より實施に關し各項目に涉り指示する所あり又菊山知事よりは別項所載の如き訓示を與へ此の非常時下、國防の見地より公物愛護、勤勞報國の二大項目に就て強調せられた。

而して、各土木事務所に所ては來る四月十七、十八の兩

日に涉り、所管市町村土木主任を招集し打合會を催すことになつて居るが、是れより先、縣に於ては各新聞社を始めとして各方面へ協力方につき依頼すると共に土木、學務、警察各部長名を以て市町村長、小學校長、警察署長に對し道路愛護デー實施協力方に關し通牒を發した。一方宮城縣道路保護協會に於ては去る四月十五日仙臺市内齋藤報恩會館に評議員會並總會を開催し道路愛護デー其の他に要する諸經費の昭和十四年度豫算を附議し滿場一致可決したので、これより愈々本格的活動に入ることになつた。何分本年は準備當初に於て總師たる土木部長を始めとして縣土木

部に於ては道路課長、監理課長の交渉があつたので聊か立遅れの觀があつたので晝夜兼行を以て準備を進めて居る結果、宣傳用印刷物も來る二十日迄には縣下に行き涉ることになつた。

宣傳用印刷物の主なるものはポスター、趣旨書（之れは趣旨目的普及徹底を圖る爲に其の當事者に於て用ゆるもの、本年はポケット入道路愛護手帳にして冒頭に道路愛護デーの趣旨を掲げ、餘白は日記體のものとして各頁は道路愛護に關する標語を挿入せるもの。道路愛護作業に行つた都度記入する仕組である）チラシ（各世帯配付用。之れは小學校に依頼し各兒童の手に依り世帯に送り見易き處に貼付して貰ふことになつて居る）自動車に愛護デー當日貼付して貰ふマーク等である。

愛護デー當日は縣に於ては土木部長、道路課長以下管内各町村を廻り指導視察を行ふことになつて居る。客年の道路愛護デーに於ける出勤人員は總數十五萬人を突破して居る盛況で隨つて実績も大に擧つて居るのであるから今回の

デーに於ては前回を凌ぐ実績を擧げるべく何れも大重の活動を續けて居る。

由に客年は縣下より道路愛護に關する小論文を募集し又各小學校長に依頼して五年生以上の兒童に道路愛護に關する感想作文を綴らしむる等の企てがあつたが、本年は都合に依り兒童作文の募集文に止め表彰方法を考へることになつた。

右論文作文集は纏めて印刷に附し既に上梓したので近く各方面へ配ることになつてゐる。

道路愛護デー實施計畫及土木事務所長會議に於ける知事の訓示並道路保護協會長の總會に於ける挨拶次の如し。

### 國民精神總動員道路愛護デー實施計畫書

#### 一、實施期日

昭和十四年五月三日

#### 二、主催

宮城縣  
宮城縣道路保護協會

三、目的

國民精神總動員勸勞報國、道路愛護心ノ涵養

四、參加團體

道路保護組合並其他各種團體

五、實施ノ順序

(一) 集合 (場所ハ成ルベク當該氏神境内トス)

(二) 國旗揚揚及國歌合唱

(三) 宮城遙拜

(四) 出征將兵武運長久祈願並戰歿將兵靈慰默禱

六、挨拶 (團體代表者)

七、作業奉仕

(イ) 道路ノ清掃

(ロ) 道路障礙物ノ除去

(ハ) 側溝ノ浚渫

(ニ) 材料ノ蒐集及運搬配置

(ホ) 路面ノ修理

八、業作終了 (萬歳ヲ三唱シテ解散)

尙愛護テ！當日小學校長、各中等學校長ニ對シ左ノ方法ヲ講セ

シム

小學校

(イ) 尋常五年以上ノ兒童ヨリ道路愛護ニ關スル感想作文

(三十字詰六百字以内)ヲ綴ラシメ其ノ學校ノ代表作

一編ヲ選ビ之ヲ縣ニ送付セシム (代表作ニ對シテハ縣

又ハ道路保護協會ヨリ薄賞ヲ贈ル見込)

(ロ) 學校長ヨリ各兒童ニ道路愛護ニ關スル講話ヲ爲サシム

各中等學校

(イ) 各生徒ヲシテ道路愛護作業奉仕セシムル様獎勵ス

九、指導監督

總指揮官

副指揮官

指導班

第一班 (仙臺、大河原、鹽釜)

第二班 (古川、石巻)

第三班 (築館、佐沼)

主任 安部 技師

原 技手

齋藤 技手

石田 技師

齋藤 技手

主任 岡崎 技師

中野 技手

庶務班

主任 鈴木道路主事

一〇、道路愛護實績考查

道路愛護デー實施成績ハ市町村長ヨリ提出セシメ之ヲ審査ス他  
日表彰ノ場合ハ資ニ供ス

一一、實施準備

本事業實施ノ爲四月十四日各土木事務所長ヲ縣廳ニ招集シ實施  
ニ關スル事項ニツキ協議打合ヲ行ヒ引續キ四月十七日各土木事  
務所ニ於テ市町村土木主任會議ヲ市町村ニ於テハ部落代表各種  
團體長等ノ會議ヲ開催セシメ趣旨ノ徹底ヲ期ス

一二、宣傳及依頼協調

本愛護デーノ實施ニ當リテハ舉縣一致實ヲ舉グルノ必要上一般  
縣民ニ對シ先以テ趣旨ノ徹底ヲ圖ルヲ肝要トス依テ左ノ方法ヲ  
行フ

宣 傳

- (イ) ポスター、趣旨書、ナラシヲ汎ク配付シ一般ニ周知セシム
- (ロ) 愛護デー前日官廳公示事項トシテラヂオヲ通ジテ實施ノ趣旨ニツキ放送ヲ爲ス
- (ハ) 各種集合ヲ利用シ講演ヲ行フ
- (ニ) 自動車其他ノ交通機關ニ對シ「道路愛護デー」ト記シ

說 苑

タルマークヲ適當ノ個所ニ貼付セシメ一般ノ注意ヲ喚起セシムルノ一助トス

(ホ) 縣若ハ道路保護協會ニ於テ奉仕作業狀況ヲフィルムニ收メ巡回活動寫眞ノ用ニ供ス

依頼並協調

(イ) 道路愛護デー實施ニ付キ左記ト協議シ依頼シ實施上萬遺憾ナキヲ期ス

記

警察部、學務部、其他必要ト認ムル方面

以上

長官訓示

本日各位ノ御參集ヲ煩ハシタルハ來ル五月三日ヲ期シ第二回道路愛護デー實施ニ關シ親シク縣ノ意ノアル所ヲ傳へ又各位ノ忌憚ナキ意見ヲ聽キ實施ニ當リ萬遺憾ナキヲ期セントスルニ外ナリマセヌ

抑モ道路愛護デー實施ハ國民精神總動員ノ一項目トシテ實施スルモノデアリマシテ之レニ依リテ道路愛護心ノ喚起涵養ヲ圖リ之レニ依リマシテ舉縣一致銑後國民トシテ勤勞

報國ノ美風ヲ發揚シ併セテ官民協力ノ實ヲ擧ケシムルヲ以テ主眼トスルノデアリマス今ヤ支那事變ハ長期建設ノ段階ニ入り國民ハ非常ノ覺悟ヲ以テ此ノ難局ニ對處セネバナラヌ秋デアリマス

而シテ此ノ難局克服ノ爲ニハ幾多善處セネバナラヌモノガアリマスガトリワケ諸物資ノ輸送ヲ掌ル道路ノ善否ハ其ノ影響スル所極メテ大ナルモノアルハ敢テ多言ヲ要セザル所デアリマス

然ルニ本縣道路ノ現況ヲ案スルニ殆ソド完備シテ居ルモノガ無い實狀ニアルコトハ各位御承知ノ通りデアリマス固ヨリ其ノ據ツテ來ル所ナシトハ致シマセヌ維持管理費ノ不充ナルモ其ノ一因デアリマスガ畢竟スルニ一般縣民ニ於テ今日以上ニ強イ愛護心ヲ持チ又縣財政ニ對シテモ深い認識ヲ持ツテ貰フコトガ出來タナラ其處ニ期セスシテ官民協力ノ實ガ擧リ今日ノ道路モ面目一新シ得タコトデアリ諸物資輸送ノ使命ヲ果スニ事缺カサナカツタト信ズルノデアリ

マ

今次事變ニ伴ツテ資源ノ開發生産ノ擴充ヲ圖リツ、アル半面ニ於テ鐵道輸送力ハ既ニ泡和點ニ達シテ居ル實狀ニ鑑ミ道路ノ使命ハ愈々重大ナルモノガアルノデアリマス即チ現下ノ非常時下ニ在リマシテノ國防ノ見地ヨリ乃至資源開發、生産擴充ノ爲道路ノ新築改築ノ急施ヲ必要トスルモノガアリ一面維持修繕ニ付テハ特ニ意ヲ用キネバナラヌ秋現下ノ狀勢ヲ以テ推移シテ行キマスナラ遂ニ狀勢ノ轉換ヲ圖ルコトハ不可能トセネバナリマセヌ縣ハ此點非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス思フニ現下ノ道路狀勢ノ轉換ヲ圖ラントセバ第一ニ縣民ニ現下ノ狀勢ヲ正シク認識シテ貰フコトヲナケレバナリマセヌ即チ其ノ第一着手トシテ道路愛護デ一ヲ選ビ縣下一齊ニ實施スル所以デアリマス固ヨリ一、二回ノ實施ニ依リマシテ目的ノ達成ハ至難デアリマスガ今後之ヲ年中行事ノ一トシテ繼續實施致スコトニ依リ官民ノ總力ガ道路ノ上ニ反映スル氣運ヲ一日モ速ニ到來スルコトヲ希ヒ之レニ依リマシテ新機軸ヲ出シマシテ難局打開ニ資シ渡イト存ズル次第デアリマス

各位ハ宜シク縣ノ意ノアル所ヲ體得セラレ一般縣民ニ呼ビカケ本事業ノ趣旨普及徹底ヲ圖リ目的達成ノ爲盡サレ度尙市町村ノ指導督勵ニ付テハ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ身ヲ以テ指導ノ實ヲ舉グル様切望スル次第デアリマス

### 總會ニ於ケル會長挨拶

開會ニ當リ御挨拶申上ゲマス前大石土木部長ノ後ヲ受ケマシテ本縣ニ參リマシタ不肖私ガ飯島デアリマス、圖ラズモ本協會ノ會則ニ依リマシテ會長ノ重任ニ就キマシタコトハ私ノ最モ光榮トスル所デアルト共ニ責任ノ重大ナルヲ痛感シテ居ル次第デアリマス。今後會務ヲ執行ニ就キマシテハ皆様ノ御援助ニ依ツテ微力ヲ盡シ遺憾ナキヲ期シ度イト存シマス。本日ハ我が道路保護協會ニ於ケル昭和十四年度通常總會ヲ開催致シマシタ所時局柄公私極メテ御多忙中ニモ拘ラズ斯ク多數ノ御出席ヲ得マシタコトハ主催者ト致シマシテ感謝ニ堪ヘザル所デアリマス、本協會ハ御承知ノ通り昭和五年創立以來本縣ノ道路愛護ニ關スル觀念ノ普及ニ力ヲ致シテ參ツタノデアリマス幸ニ致シマシテ本協會ノ目

的ガ漸次具體化セラレル様ニナリマシテ昨年ノ愛護デー當日ノ各地ニ於ケル愛護作業ノ如キ寔ニ目覺マシイモノガアリマシタコトハ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス。今ヤ支那事變ハ長期建設ノ域ニ入り國內銃後施設ノ完備ヲ期スルノ要アル時道路維持改善ハ産業文化ノ開發上一日モ忽緒ニ附スベカラザル問題デアリマス。乍然之レニ要スル道路ノ維持修繕費ニ就テハ御承知ノ如キ現下ノ時局ニ於テハ増額ヲ爲スガ如キハ到底望ムベカラザル状態ニ付斯ル財力ノ拮据ヲ補ハンガ爲ニハ本協會ノ最モ活動ヲ要スル時期デアリマスノデ本協會ハ例年ノ通映畫會及座談會ヲ開催致シマスト共ニ昨年ハ特ニ五月三日ヲ期シマシテ縣下共同致シマシテ道路愛護デーヲ縣下一齊ニ之ヲ實施シ一般民衆ニ呼ビタケタル所豫期以上ノ好成績ヲ收メ當日ノ出役人員ノミニテモ實ニ十五萬五千人ヲ算シ其ノ實績亦見ルベキモノアリマシタノハ寔ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス就キマシテハ本年ニ於テモ來ル五月三日ヲ朴シ第二回ノ道路愛護デーヲ實施ノ豫定デアリマスカラ一層ノ御援助ヲ御願致シタイ

ト存ズル次第アリマス。茲ニ提案致シマシタ件ハ昭和十四年度事業ノ計畫及豫算竝昭和十二年度決算ノ報告デアリマス何卒宜敷御審議下サイマシテ御賛同ヲ希ヒマスト共ニ

本會ノ趣旨目的達成ニ御協力アランコトヲ御願ヒ致シマス  
以上ヲ以テ開會ノ御挨拶ト致シマス。

## 東京會議便り(三)

淺 香 生

### 土木出張所長會議

十四年度に於ける豫算の執行其の他に付、恒例の土木出張所長會議は、四月五日内相官邸に、六日内務省第一會議室に於て開催せられた。

木戸内相事故の爲、館内務次官から代つて左の如き挨拶があつた。

會議の始めに當りまして一言御挨拶を申述べたいと存じます。凡そ國民生活の安定を圖り、産業經濟の進展を期するが爲には、之が根基たる土木施設の整備充實に候つこと極めて大なるは言を俟たぬ處であります。

特に事變も長期建設の段階に入り、生産力の擴充を計り銃後國力の涵養を喫緊とする現下の狀勢に於ては、土木諸施設に對する要求亦一段と切實なるものがあります。従つて政府に於いても其の重要性を認識し軍事關係